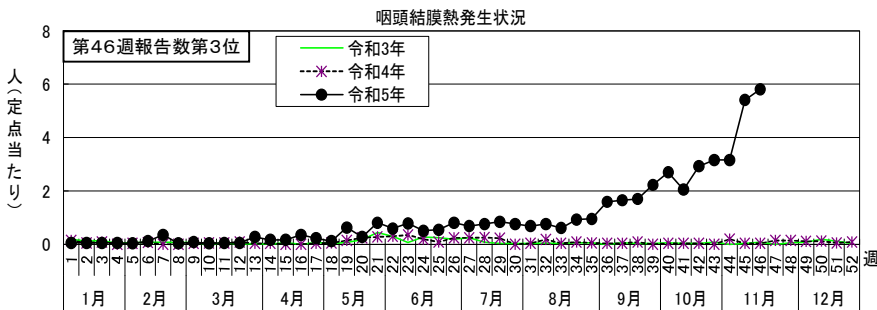
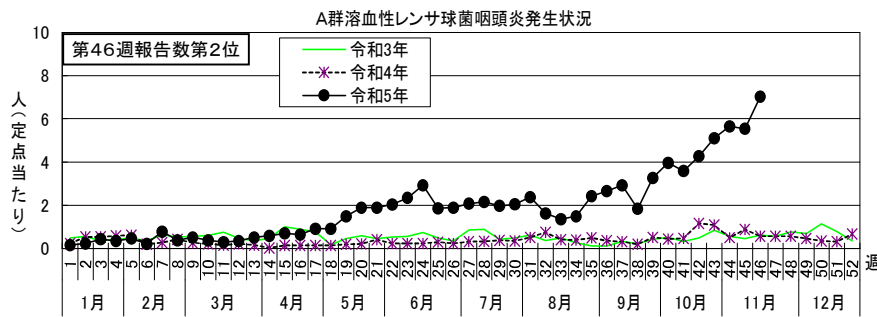
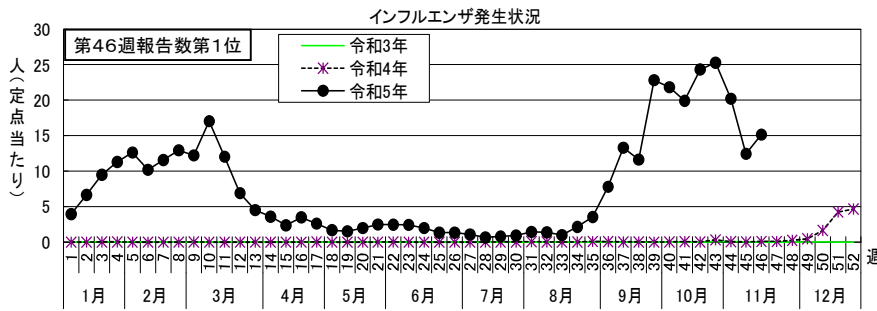


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年11月13日（月）～令和5年11月19日（日）〔令和5年第46週〕の感染症発生状況

第46週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 咽頭結膜熱でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は15.16人と前週（12.43人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は7.03人と前週（5.54人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.81人と前週（5.41人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



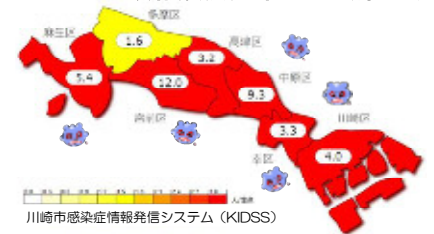
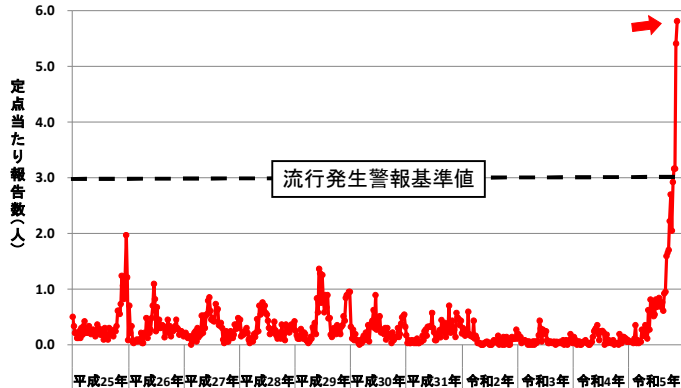
咽頭結膜熱～過去10年間で最多の報告数！～

川崎市における令和5年第46週（11月13日～19日）の咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は5.81人となり、過去10年間で最多の報告数となりました。今年は流行発生警報基準値（定点当たり3.00人）を超えた第43週以降も報告が続き、第45週には大きな増加もみられました。

咽頭結膜熱の原因であるアデノウイルスには様々な血清型が存在し、型によって呼吸器症状や眼症状、消化器症状等多彩な症状が現れます。多くの場合は自然に治りますが、重症肺炎を起こしやすい型もあり、全身性の感染症に進展する場合があります。咳が激しい場合や、吐き気や頭痛が強い場合等は、早めに医療機関への受診を御検討ください。

川崎市における咽頭結膜熱分布マップ(第46週)

川崎市における咽頭結膜熱発生状況(10年間)



- ✓咽頭結膜熱の流行を起こす型は、多くは3型ですが、2型、4型、7型、11型等による流行もみられます。
- ✓特に7型は、重症の肺炎を引き起こし、乳幼児は髄膜炎や脳炎等を併発することもあります。